| 学校番号 | 3015 |
|---|---|

# 令和４年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 政治・経済 | 単位数 | 2 | 年次 | 3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 『改訂版　政治・経済』（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 『政治・経済資料 2022』（東京法令出版）<br>『改訂版４ステージ演習ノート　政治・経済』（数研出版） | | | | | | |

## １ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次「現代社会」の政治・経済分野を深く学習していきます。分かりやすい説明を心がけますので、まずはしっかりと授業を聞いてください。１年が終わる頃には、ニュースを見ることが楽しくなるはずです。

大学入試で使用する者は、問題演習に取り組むことを推奨します。やればやるほど点数が伸びる科目です。知識を丸暗記するのではなく、過去問等の問題演習を通して覚えた方が効率が良いです。

## ２ 学習の到達目標

①政治・経済の知識を身に着け、日本や世界で起きている問題について正しく理解する。
②現代社会の諸問題を解決するにはどうすれば良いか、自分なりに、あるいは他者との話し合いを通して考える。

## ３ 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世の中で起きている政治・経済の問題に関心を持ち、積極的に探究しようとする姿勢がある。 | 政治・経済について正しい知識を身につけた上で、自分なりの考えを持ち、それを話し合うことにより他者と意見を共有することができる。 | 統計やグラフからデータを読み取り、そこに表れている政治・経済的問題について考えることができる。 | 国内および世界の政治・経済の制度や歴史について正しく理解することができる。 |
| 評価方法 | ・授業態度<br>・提出物<br>・定期考査 | ・授業態度<br>・提出物<br>・定期考査 | ・授業態度<br>・提出物<br>・定期考査 | ・定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 | 現代の政治 | ・現代国家と民主政治<br><br>・日本国憲法と基本的人権<br><br>・日本の政治制度と政治参加 | ○ | <br><br><br>○ | | <br>○<br><br>○ | a:民主主義や人権の歴史を理解し、様々な立場にある人間が共存するための政治のあり方について考える。<br>d:世界の政治制度について、それぞれの特徴を比較しながら正しい知識を身につける。<br>d:憲法や三権分立、地方自治など、日本の政治制度について正しい知識を身につける。<br>b:選挙の仕組みを理解し、その意義や課題について考え、話し合う。 | ・授業態度<br>・提出物<br>・定期考査 |
| 2 | 現代の経済 | ・現代経済のしくみ<br><br>・経済社会の変容<br>・現在の日本経済と福祉の向上 | ○ | | <br>○ | ○ | a:市場経済のしくみを正しく理解し、身の回りの経済活動と関連づけて考える。<br>d:ＧＤＰや景気変動について学び、現在の日本経済の状況を正しく理解する。<br>c:世界や日本の経済史について、１学期を通して学んできた知識と関連づけながら理解し、日本経済の課題について考える。 | ・授業態度<br>・提出物<br>・定期考査 |
| 3 | | 問題演習および、ディスカッションやレポート作成 | ○ | ○ | | | a:大学共通試験以降は、様々な社会課題に関するグループワークやレポート提出などを行い、その課題への作成意欲やディベートへの積極的な参加を評価する。<br>b:授業で理解した各事象を踏まえたうえで、自分自身の意見を根拠立てて説明することができる。 | ・授業態度<br>・提出物 |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解